

軽さと快適さに高耐久をプラス シーボーグ G200J

SEABORG
G200J

●シーボーグ200Jをベースに、より高耐久化したタフスモールモンスターの登場である。新たに採用した高耐久マグマックスGモーター（安心の3年保証）はレスポンスのいい回転フィーリングとパワーを生み出す。さらに付属のAIRコード使用で655グラムという軽量化、軽さと感度と快適さも実現した。電動ジギング対応の75~85ミリのロングハンドルも新たに搭載。現モデルを継承する画期的機能、電動モバイルセッティング、片手でも操作できるジョグパワールーバーを始めATD、マグシールドボールベアリングなど、ダイワの最新テクノロジーをすべて搭載した最新小型電動リールの登場である。12月発売予定

▲巻き上げスピード1の超微速巻きもスムーズに可動



▲フォールブレイキダイヤルも使いやすいくなり、片手操作も可能



▲持ちやすく操作もしやすいゼロシートとの相性もバッチリ



▲スマホと連動した電動モバイルセッティング、糸入力など4つの便利機能を搭載

▲高耐久マグマックスGモーター搭載。3年300キロ保証は自信の表れだ

品名	ギア比	巻き取長さ (cm/ハンドル1回転)	自重 (g)	最大ドラッグ力 (kg)	標準糸量 PE (号-m)	最大巻上力 (kg)	常用巻上速度 1kg 負荷時 (m/分)	JAFS 基準巻上力 (kg)	JAFS 基準速度 (m/分)	ベアリング (ボール/ローラー)	メーカー希望本体価格 (円)
G200J	5.9	65	520	10	1-600/1.2-500/1.5-450 2-300/3-200	26	155	10	195	14/1	113,000
G200JL	5.9	65	520	10	1-600/1.2-500/1.5-450 2-300/3-200	26	155	10	195	14/1	113,000

▶快適ソフトベイトもアカムツには効果的
▼仕掛けは快適アカムツ仕掛KPSS



▲序盤は中小型メインだった北本さん

LEADING MG

★ライトアカムツに最適なのは、同じく新製品のリーディングMG



▼ゼロシート採用、軽量化とグリップ性能も向上

▲リーディングMGの数あるアイテムの中から73H205MTを使用

タフスモールモンスター 高耐久シーボーグ G200J登場

★平潟沖のアカムツ、ライトタックルでのチャレンジは見事成功

★手のひらに収まるコンパクトサイズながらアカムツも射程圏内



北本茂照、晴山由梨 アカムツをライトに楽しむ

★新登場、高耐久モデルのシーボーグG200J

THE FRONT OF OFF SHORE FISHING vol.79

ライトアカムツ最前線

at 茨城県平潟港出船

●冬本番を前に水温や潮流が収まるようになると、出船率が高くなっていく釣りがアカムツだ。今回は北本茂照さんと晴山由梨さんが新登場した「シーボーグG200J」を持参し、すでに盛期インしている茨城県平潟沖にて、ライトで楽しむアカムツ釣りを紹介する。

▲ATDドラッグが小気味よいドラッグサウンドを奏でる

「このリールでアカムツができるなら、きっと女性ファンも喜ぶと思いますよ」とうれしそうに話す。

「このリールをさらにチューンナップ、さらなる高耐久を実現したのが新登場「シーボーグG200J」である。「このサイズ、この軽さでアカムツもできるんですよ。」「軽さは感度」が実感できます」と北本茂照さん。同行した晴山由梨さんも、

今年5月に発売された「シーボーグ200J」はハイパワー、軽量コンパクト、加えて電動モバイルセッティングなど新機能もフル装備し、すでに多くの愛用者を持つ最新の小型電動リールだ。



▲北本さんがラストに仕留めた大型アカムツ

「このリールでは見逃すようなアタリも取れます。手持ちで釣ってられるのもライトタックルのおかげです」と晴山さん。「このサイズではまだまだオーバースペック。一発大型がほしいところですよ」と北本さん。

「ここまで、上がってきたのは25~45センチ級の中小型がメイン。この日は型に恵まれなかった北本さんが、最後の流しで良型らしきヤトリを見せる。リーディングMGが大きく曲がり込み、時折はドラッグを滑らせながらもシーボーグG200Jはひるむことなく巻き続け、当日最大、50センチ弱の大型を海面に浮かせた。

「パワーにはまったく問題ありません。それよりこのリールの特長は高耐久。一日中ハードな使用を強いられるアカムツでも安心して使い続けられるところにあります」と北本さん。

晴山さんも土産には十分過ぎるほどのアカムツを釣り上げて、「一日持ち帰っても快適に楽しめました。ライトの釣りはスリリングな引きも魅力ですね」と満悦。今回は波崎沖カンネコ根での釣行を約束し、帰路につく2人だった。

▲晴山さんは45センチ級が最大